

都市再生整備計画

うち ばら え き し ゅ う へ ん
内原駅周辺地区

(第一回変更)

い ば ら き み と し
茨城県 水戸市

令和2年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	茨城県	市町村名	水戸市	地区名	水戸市内原駅周辺地区	面積	31.9	ha							
計画期間	令和	2	年度	～	令和	5	年度	交付期間	令和	2	年度	～	令和	5	年度

目標

- ・駅南側市街地からの駅利用者の安全性や利便性の向上
- ・駅周辺道路の混雑緩和

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 本市は、かつて戦災復興都市計画により現在の国道50号が都市軸と位置付けられ、建築物の高層化と大型小売店の進出により中心市街地が発展したが、車社会を背景とした大型商業施設の郊外部の進出により、歩行者通行量の減少、空き店舗率の上昇等に見られるように、中心市街地の活力が低下してきている。
 このことから、社会情勢の変化にも柔軟に対応できる持続可能なコンパクトなまちづくりを実現するため、本市では平成26年度に都市計画マスタープランを策定した。
 具体的には、都市機能や居住環境の集積と交通体系の確保による持続可能な集約型都市の形成、環境負荷が少ない低炭素・循環型の都市の形成、災害時に機能を継続できる都市の形成、中心市街地の活性化や交流人口増を持続的に生み出す魅力ある都市の形成などを目指すべき将来像として位置付けており、現在では本プランに基づき、まちなかへの都市機能の集約、強化及び居住を誘導する施策を進めている。
 また、これらの取り組みをより一層推進していくため、本市では平成28年度に立地適正化計画を策定しており、その中で内原駅周辺地区については、都市機能誘導区域に位置づけ、周辺の世帯を含む若い世代のニーズにも配慮したサービス機能など、地域住民の生活利便性が確保された生活拠点を目指すこととしている。

まちづくりの経緯及び現況

本市の西南部に位置する内原地区は、平成17年2月1日に内原町から水戸市へ合併しており、交通については、JR常磐線が地区の中央部を東西に通過し、JR内原駅が設置されている。
 JR内原駅周辺のまちなみは、駅北側は、平成27年3月に完了した土地区画整理事業により、駅北口広場を含む都市基盤整備が整い、併せて複合型商業交流施設を核とした商業の集積がなされている。一方で駅南側は、主に住宅系の既存市街地が広がっている状況である。
 現在、JR内原駅周辺の交通状況は、駅改札口が北側にしか設置されていないため、駅南側からの利用者は長岡踏切を横断して駅北口に向かわなければならない、特に通勤・通学時において、踏切付近が歩行者や自転車利用者で混雑しており、駅へ送迎する自動車による渋滞も発生している。
 また、長岡踏切北側において、駅北口から東側の商業施設方面へ向かうために車道を横断する歩行者が増加している状況である。

課題

- ・長岡踏切付近における歩行者の安全性の確保、自動車の渋滞の軽減、及び駅利用者の利便性の向上が求められている。

将来ビジョン(中長期)

- 【水戸市第6次総合計画】
- ・本地区は、拠点開発の効果を一層高めるため、駅橋上化や自由通路、駅南口広場などの整備を進めることによる、利便性の高い交通結節点としての機能強化を掲げている。
- 【水戸市公共交通基本計画】
- ・本地区は、都市格と拠点間を結ぶ交通ネットワークの強化として、内原駅の橋上化や駅南口広場等の整備に取り組むことによる、交通結節点としての機能強化を掲げている。
- 【水戸市都市計画マスタープラン-第2次-】
- ・本地区は、内原地区における地域生活拠点として、駅周辺を中心とした都市基盤整備、複合的な機能集積を推進することによる、魅力とにぎわいのある都市空間の形成及び交通結節点としての機能強化を掲げている。

整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【公共交通の利用と連携した駅南北の一体化】 ・歩行者の安全性の確保、自動車の渋滞の軽減、及び駅利用者の利便性の向上のため、橋上駅舎にアクセスするための自由通路を整備するとともに、駅南側に広場を整備する。</p>	<p>【基幹事業】複合交通センター(自由通路、連絡通路(デッキ)) 【基幹事業】広場(駅前広場) 【関連事業】内原駅南口広場進入道路</p>
その他	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

交付対象事業費	2,762	交付限度額	1,381	国費率	0.5
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路			自由通路	水戸市	直	L=41m	H29	R5	R2	R5	2,600	2,032	2,032		2,032	
			連絡通路(デッキ)	水戸市	直	L=88m	H29	R5	R2	R5	550	406	406		406	
公園																
古都保存・緑地保全等事業																
河川																
下水道																
駐車場有効利用システム																
地域生活基盤施設																
	広場		敷地	水戸市	直	A=4900㎡	H29	R5	R2	R5	160	72	72		72	
			自転車駐車場	水戸市	直	N=500台	H29	R5	R2	R5	50	50	50		50	
			自動車駐車場	水戸市	直	N=12台	H29	R5	R2	R5	50	50	50		50	
			バス乗降場	水戸市	直		H29	R5	R2	R5	20	20	20		20	
			タクシー乗降場	水戸市	直		H29	R5	R2	R5	20	20	20		20	
			シェルター(自由通路部)	水戸市	直		H29	R5	R2	R5	50	50	50		50	
			シェルター(駅前広場部)	水戸市	直		H29	R5	R2	R5	50	50	50		50	
高質空間形成施設			エレベーター	水戸市	直	N=2基	H29	R5	R2	R5	30	30	30		30	
			トイレ	水戸市	直	N=2箇所	H29	R5	R2	R5	20	20	20		20	
高次都市施設	地域交流センター															
	観光交流センター															
	まちおこしセンター															
	子育て世代活動支援センター															
	複合交通センター															
	社会福祉施設															
	教育文化施設															
	子育て支援施設															
既存建造物活用事業																
土地区画整理事業																
市街地再開発事業																
住宅街区整備事業																
バリアフリー環境整備事業																
優良建築物等整備事業																
住宅市街地総合整備事業																
街なみ環境整備事業																
住宅地区改良事業等																
都心共同住宅供給事業																
公営住宅等整備																
都市再生住宅等整備																
防災街区整備事業																
合計											3,600	2,800	2,800	0	2,762	1.0

統合したB/Cを記入してください

提案事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業																
事業活用調査																
まちづくり活動推進事業																
合計											0	0	0	0	0	0

合計(A+B) 2,762

(参考)都市構造再編集集中支援事業関連事業

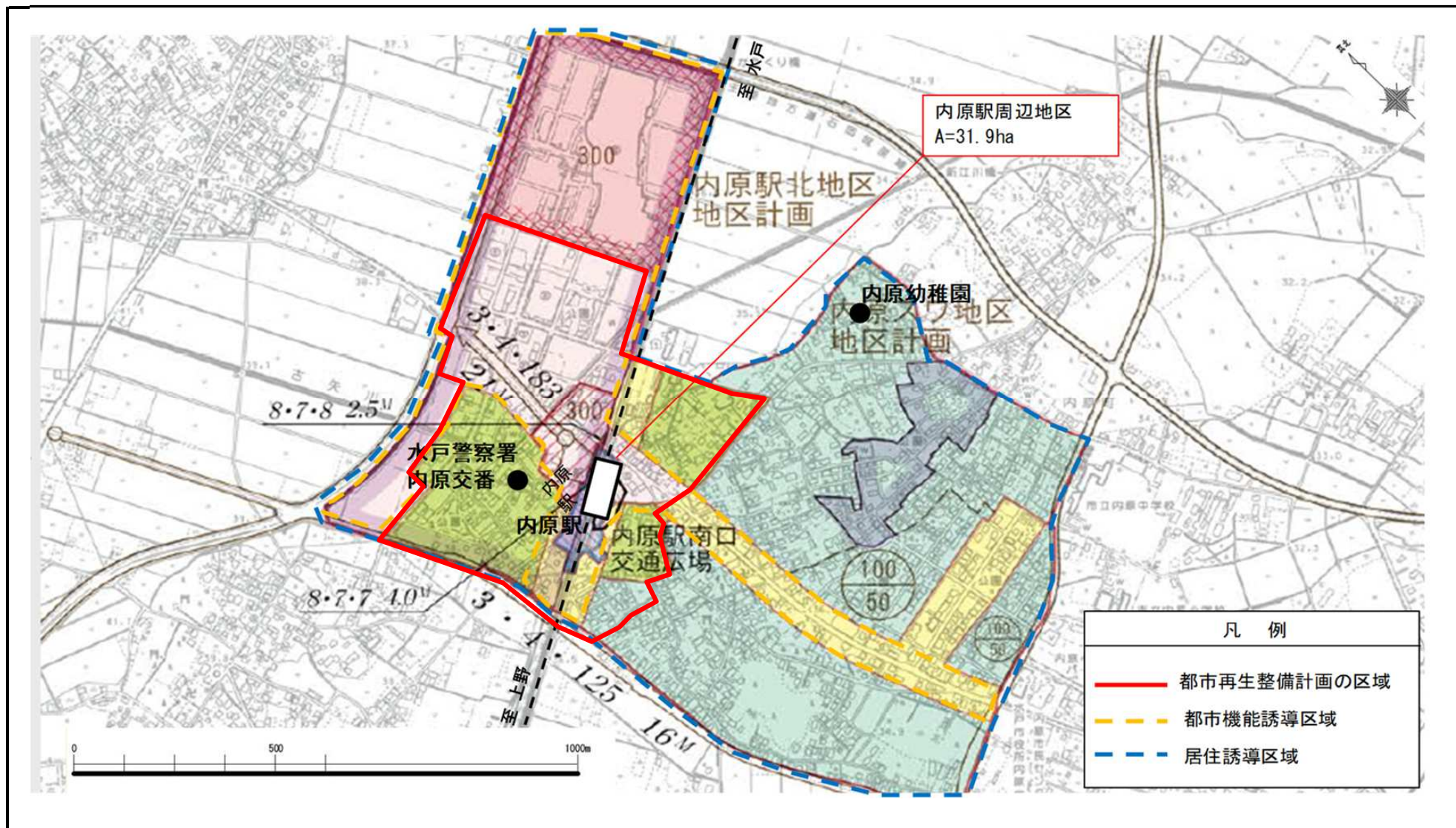
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
合計											0

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
内原駅南口広場進入道路整備事業	市道内原8-0207号線, 8-0050号線	水戸市	国土交通省	L=240m		○			H30	R2	343
合計											343

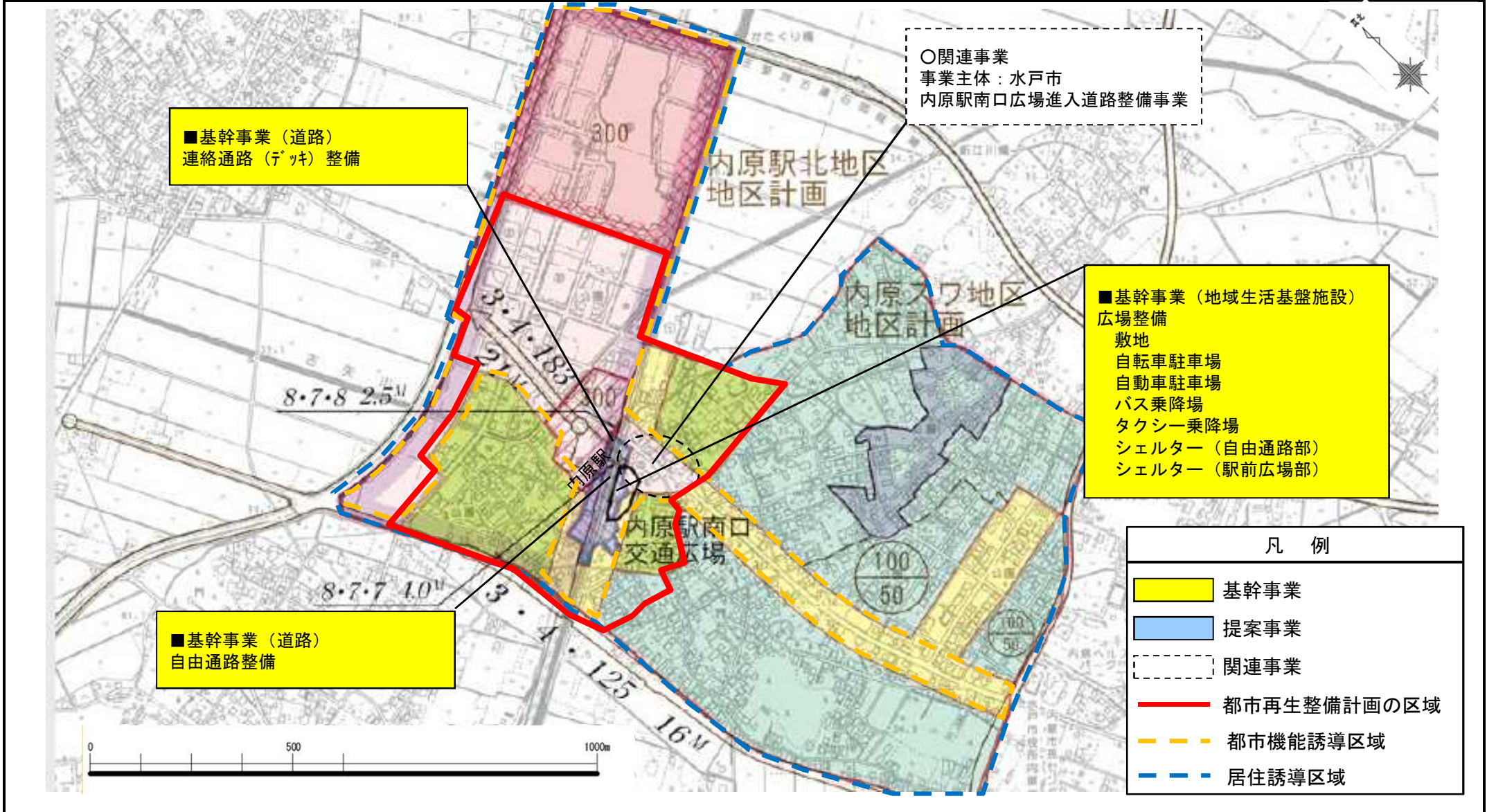
※本シートを都市再生整備計画につける必要はない

内原駅周辺地区(茨城県水戸市)	面積	31.9 ha	区域	内原1丁目, 内原町
-----------------	----	---------	----	------------



内原駅周辺地区(茨城県水戸市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	・駅南側市街地からの駅利用者の安全性や利便性の向上 ・駅周辺道路の混雑緩和	代表的な指標	駅利用者数 (人/日)	1,040 (H26年度)	→	1,500 (R5年度)
			駅利用者車両台数 (台/日)	567 (H26年度)	→	800 (R5年度)
			()	() (年度)	→	() (年度)



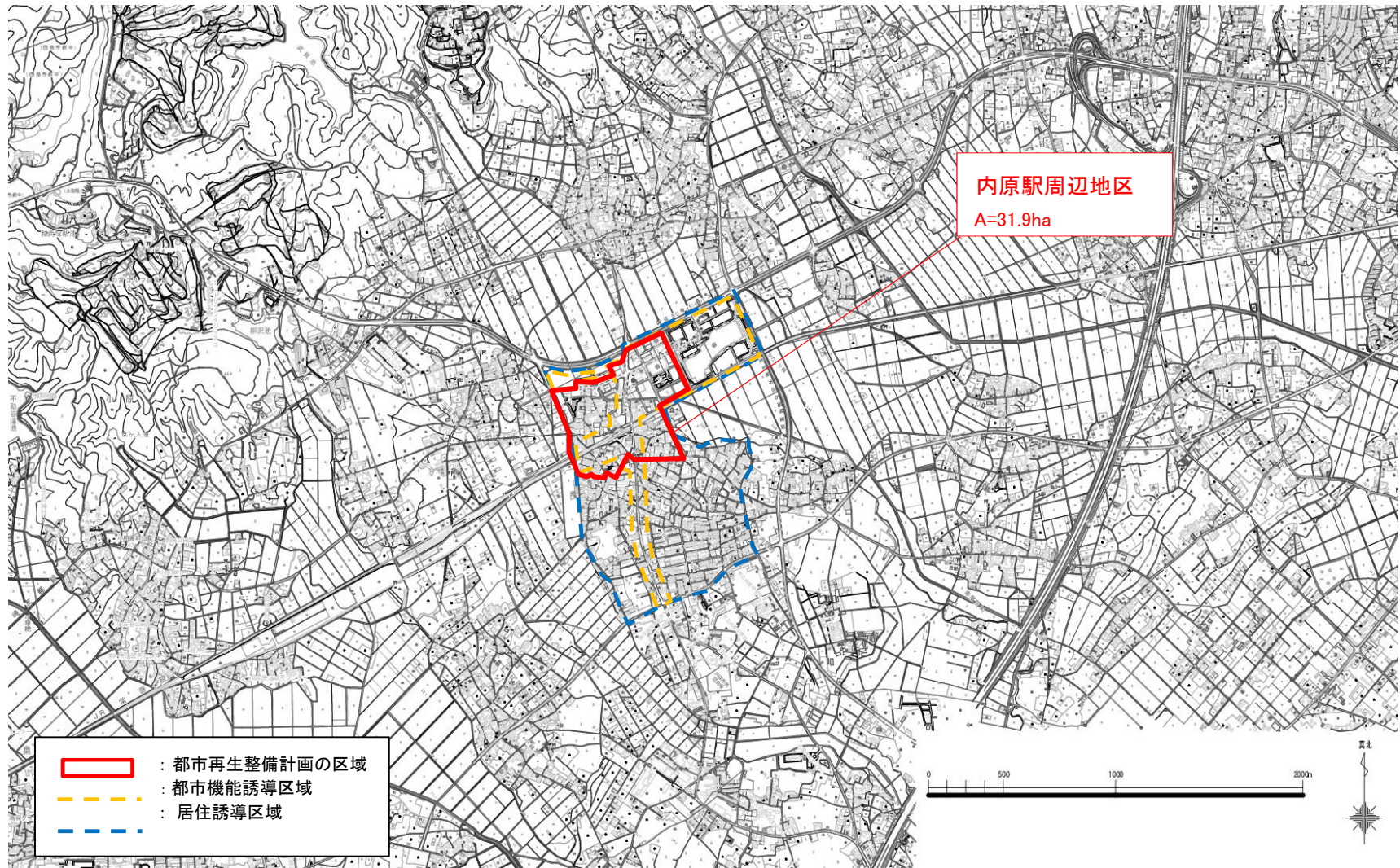
都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

うちはら えき しゅうへん ちく
内原駅周辺地区

いばらき みと し
(茨城県水戸市)

内原駅周辺地区(茨城県水戸) 現況図



交付限度額算定表(その1)

内原駅周辺地区 (茨城県水戸市(2)-③)

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	1,381.0 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	7,242.0 百万円	X≦Yゆえ、本計画における交付限度額	1,381.0 百万円
-----------------------------	-------------	-----------------------	-------------	--------------------	-------------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 159,750 m²

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	319,500.0	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	○	区域の面積が10ha未満の地区
		0.50
		最近の国勢調査の結果による人口集中地区内
		0.45
		その他の地域
		0.40

Ci 158,767 円/m²

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	0
公示価格の平均値(円/m ²)	39,967

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.001
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/m²

控除額 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

Ap 80,060 m²

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定

推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	59,760	0.19
公園	15,400	0.05
広場	4,900	0.02
緑地	-	-
公共施設合計	80,060	0.25

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 7242 百万円

ΣCn 0 円

下水道

区域面積(m ²)	319,500
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	419,967

調整池 0 円

調整池の容積(m ³)	0
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川 0 円

河川整備延長(m)	0
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)	超高層	0	
	一般	0	
	合計	0	
標準整備費(円/戸)	超高層	一般	
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(m ²)	0
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	0
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(m ²)	0
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 7242 百万円

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集集中支援事業>

交付限度額(X1)	1,381.0 百万円
-----------	-------------

<都市再生整備計画事業>

交付限度額(X2)	百万円
-----------	-----

<まちなかウォークアブル推進事業>

交付限度額(X3)	百万円
-----------	-----

交付限度額算定表(その2)(都市構造再編集集中支援事業)

【当初から都市構造再編集集中支援事業を実施する地区の場合】

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

○ 交付対象事業費

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

<都市機能誘導区域内>

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	2,762.000
	提案事業合計(B)	
	合計(A+B)	2,762.000

(事業費)
(事業費)
(事業費)

以下の2つの条件それぞれについて、該当する場合は0を入力。

都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合	
提案事業枠2割拡充の適用	

※都市機能誘導区域面積割合:都市機能誘導区域の面積の市街化区域等(市街化区域又は非線引き用途地域)の面積に占める割合。

<都市機能誘導区域外>

交付対象事業費	基幹事業合計(C)	0.000
	提案事業合計(D)	0.000
	合計(C+D)	0.000

(事業費)
(事業費)
(事業費)

$(10/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$ ($\alpha 1$)	
※都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合: $(9/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$	2,762.000 ①
$(10/9 \times (A+C))$ ($\alpha 2$)	
※提案事業2割拡充を適用する場合: $(10/8 \times (A+C))$	3,068.889 ②
交付限度額(①、②の小さい方 $\times 1/2$)	1,381.000 ③ (国費)

○ 交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B+C+D)	2,762.0
------------------	---------

(事業費)

交付要綱に基づく交付限度額 (③を1万円の位を切り捨て)	1,381.0 ④ (国費)
国費率	0.500 ⑤ (国費率)

年次計画(都市構造再編集支援事業)

様式(2)-⑤-1

(事業費:百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
道路	自由通路		水戸市	2,032				698	469	469	396
	連絡通路(テック)		水戸市	406							406
公園											
古都保存・緑地保全等事業											
河川											
下水道											
駐車場有効利用システム											
地域生活基盤施設	敷地		水戸市	72							72
	広場	自転車駐車場	水戸市	50							50
	広場	自動車駐車場	水戸市	12							12
	広場	バス乗降場	水戸市	20							20
	広場	タクシー乗降場	水戸市	20							20
	広場	シェルター(自由通路部)	水戸市	50							50
	広場	シェルター(駅前広場部)	水戸市	50							50
高層空間形成施設	エレベーター		水戸市	30							30
	トイレ		水戸市	20							20
高次都市施設	地域交流センター										
	観光交流センター										
	まちおこしセンター										
	子育て世代活動支援センター										
	複合交通センター										
誘導施設	医療施設										
	社会福祉施設										
	教育文化施設										
	子育て支援施設										
既存建造物活用事業											
土地区画整理事業											
市街地再開発事業											
住宅街区整備事業											
バリアフリー環境整備促進事業											
優良建築物等整備事業											
住宅市街地総合整備事業											
街なみ環境整備事業											
住宅地区改良事業等											
都心共同住宅供給事業											
公営住宅等整備											
都市再生住宅等整備											
防災街区整備事業											
計				2,762	0	0	0	698	469	469	1,126
提案事業											
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
地域創造 支援事業											
事業活用 調査											
まちづくり活動 推進事業											
計				0	0	0	0	0	0	0	0
合計				2,762	0	0	0	698	469	469	1,126
累計進捗率 (%)					0.0%	0.0%	0.0%	25.3%	42.3%	59.2%	100.0%

(参考)都市構造再編集支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
合計			0							
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
内原駅南口広場進入道路整備事業	市内内原8-0207号線、8-0050号線	水戸市	342.5		58.5	180	104			
合計			342.5	0	58.5	180	104	0	0	0
累計進捗率 (%)				0.0%	17.1%	69.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 注1)	事業 主体	事業 手法 注2)	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 注3)	都市計画 決定 年月	備考 注4)
							整備前 m	整備 m							
<道路>				-											
自由通路	内原1丁目, 内原町	街	水戸市	-		41	-	41	-	-	2,032	R2~R5	自由通路整備	H30.9	【完了内容】基本設計・実施設計
連絡通路(デッキ)	内原1丁目, 内原町	街	水戸市	-		88	-	88	-	-	406	R5	連絡通路(デッキ)整備	H30.9	【完了内容】基本設計・実施設計
	~			-											
	~			-											
	~			-											

(参考)

<関連事業>															
市道内原8-0207号線	内原町	地	水戸市	-		90	4	19	2						【完了内容】実施設計
市道内原8-0050号線	内原町	地	水戸市	-		150	8	10	2						【完了内容】実施設計

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例): 道路改築: 交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場: 都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 不足する場合は適宜行を追加すること

地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考	
					設計費	用地費	施設整備費		
									うち購入費
緑地							—		
広場	敷地	水戸市	A=4900㎡	72			72	—	
広場	自転車駐車場	水戸市	N=500台	50			50		
広場	自動車駐車場	水戸市	N=12台	50			50		
広場	バス乗降場	水戸市		20			20		
広場	タクシー乗降場	水戸市		20			20		
広場	シェルター(自由通路部)	水戸市		50			50		
広場	シェルター(駅前広場部)	水戸市		50			50		
駐車場									
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板								—	
地域防災施設	施設種別:								
人工地盤								—	
合計	—	—	—						

高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、給電・給排水施設、ストリートファニチャー・モニュメント、土塁、堀跡等)	トイレ	水戸市	男性用 N=2箇所 女性用 N=2箇所 多目的 N=2箇所	20			20	
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等	エレベーター	水戸市	N=2箇所	30			30	
情報化基盤施設								
合計	—	—	—	50			50	

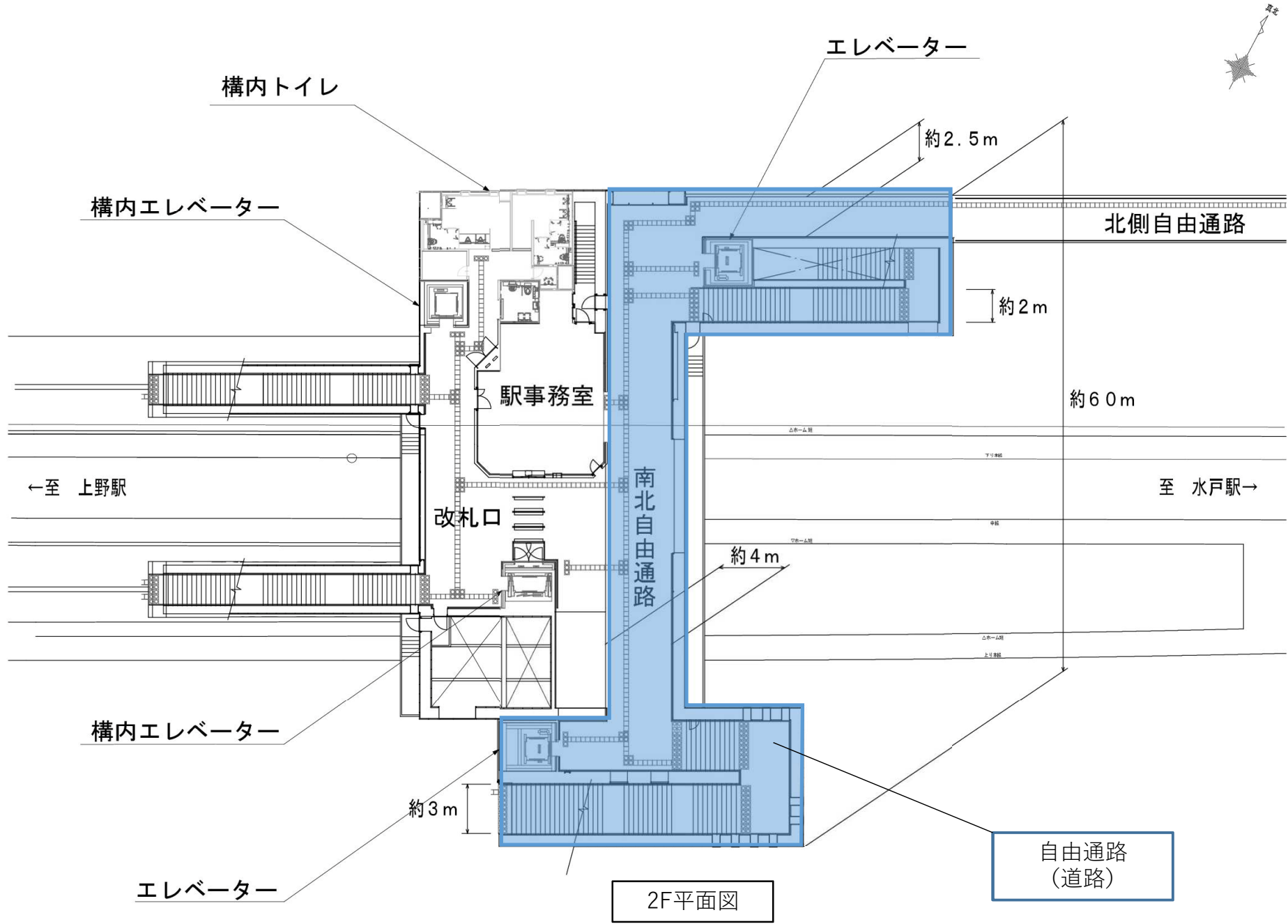
都市構造再編集中支援事業事前評価シート

計画の名称: 都市再生整備計画 内原駅周辺地区 事業主体名: 水戸市

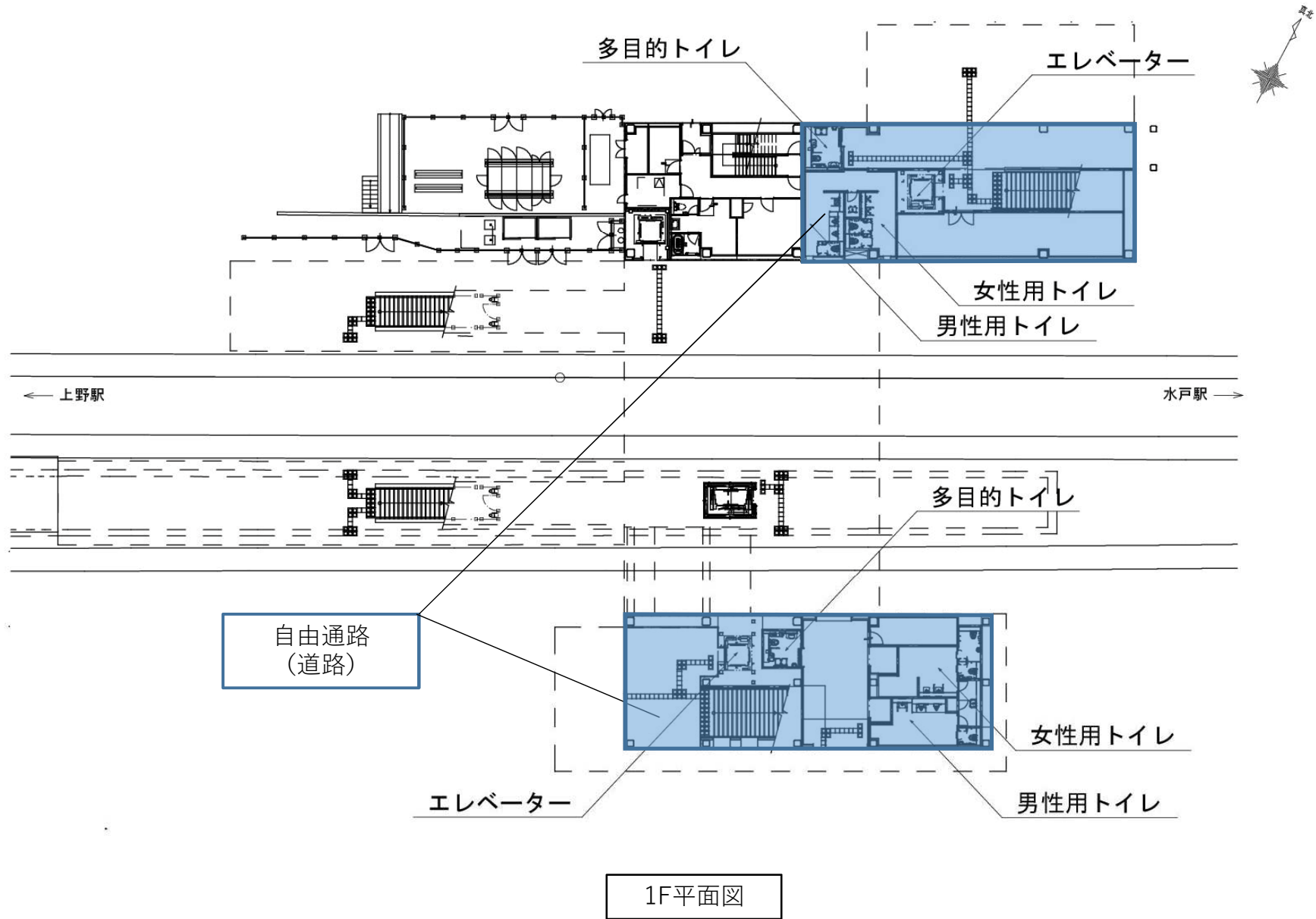
チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

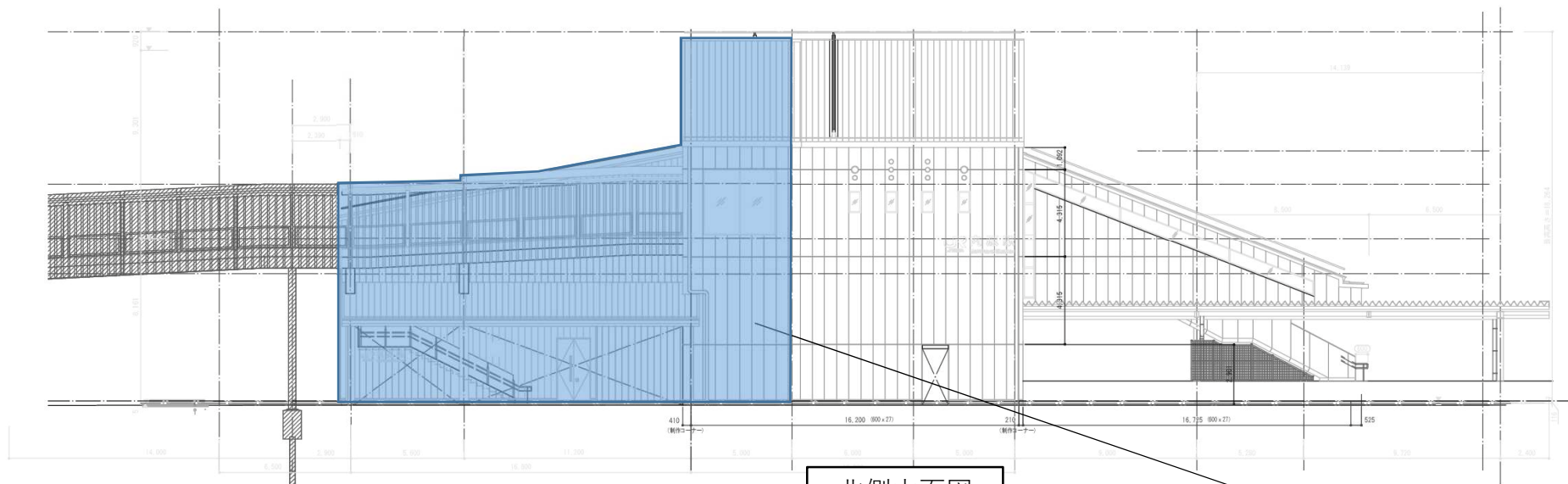
自由通路



自由通路

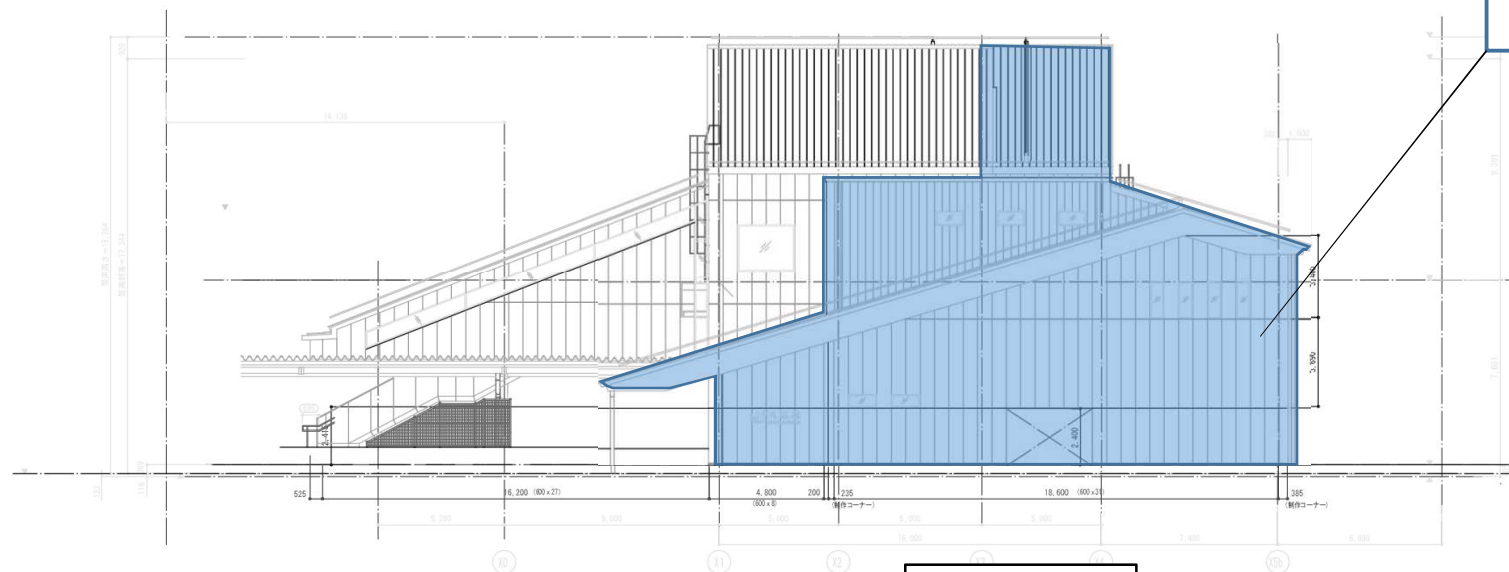


自由通路



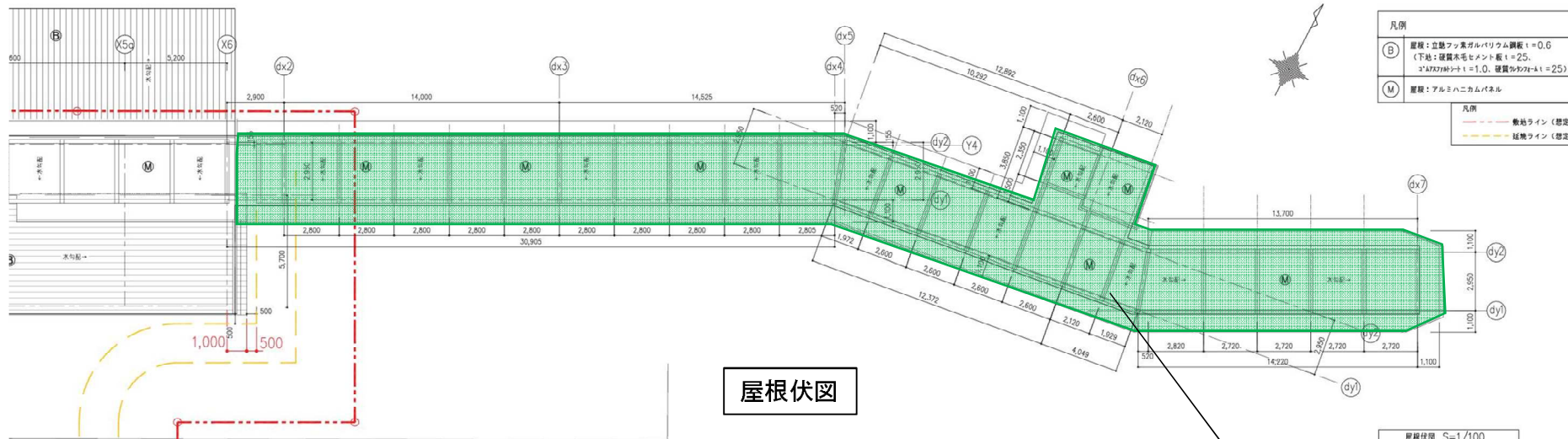
北側立面図

自由通路
(道路)

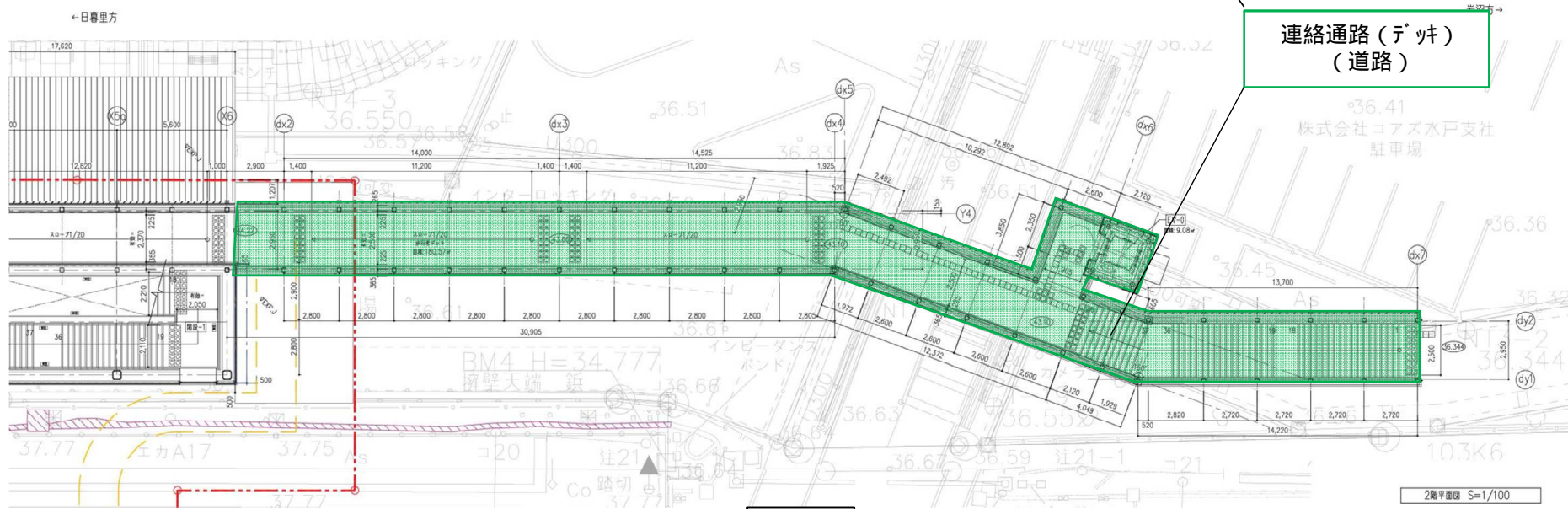


南側立面図

連絡通路 (デッキ)



凡例	
(B)	屋根：立脚フッ素珪酸ガラス鋼板 t=0.6 (下貼：硬質羊毛セメント板 t=25。 2*AF271845 t=1.0、硬質ウレタン t=25)
(M)	屋根：アルミハニカムパネル
凡例	<ul style="list-style-type: none"> --- 敷地ライン (想定) --- 延焼ライン (想定)

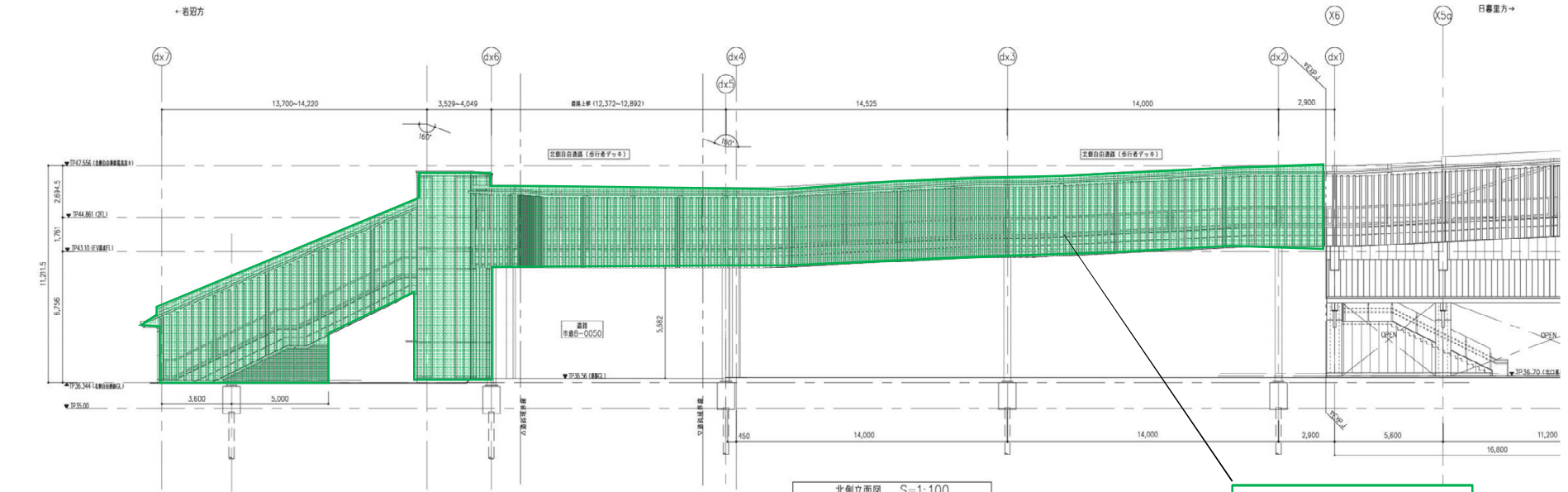


連絡通路 (デッキ)
(道路)

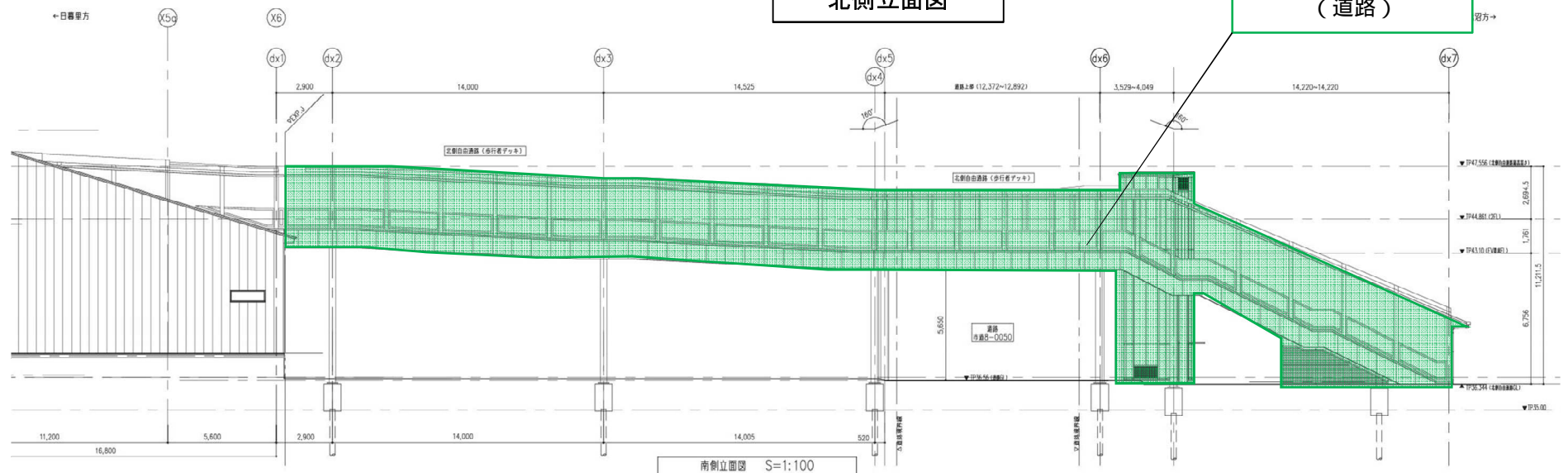
屋根伏図

平面図

連絡通路 (デッキ)



北側立面図 S=1:100
連絡通路 (デッキ)
(道路)



南側立面図 S=1:100

施設計画平面図

S=1:250



シェルター等設置
(自由通路)
(地域生活基盤施設)

シェルター等設置
(駅前広場)
(地域生活基盤施設)

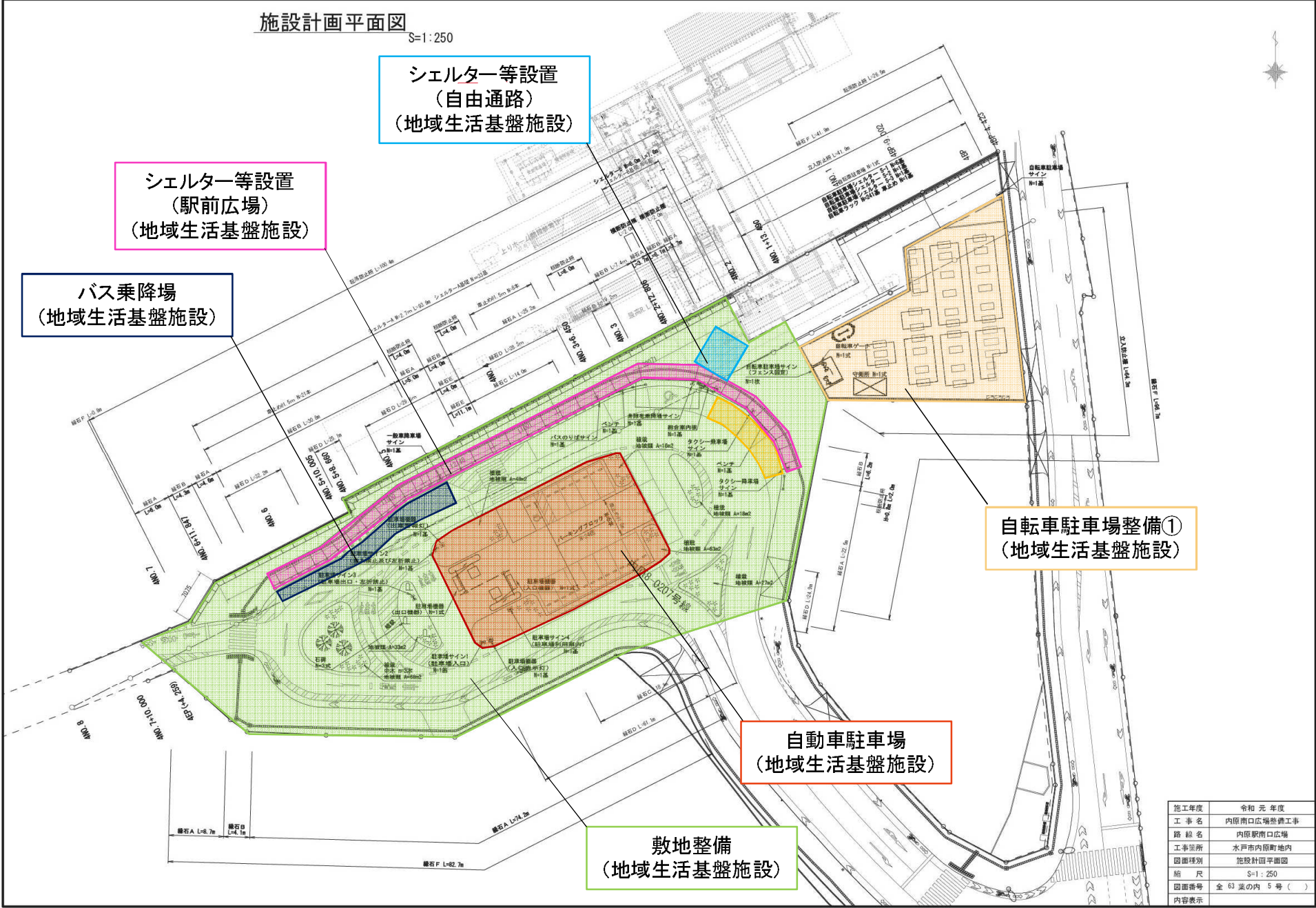
バス乗降場
(地域生活基盤施設)

自転車駐車場整備①
(地域生活基盤施設)

自動車駐車場
(地域生活基盤施設)

敷地整備
(地域生活基盤施設)

施工年度	令和元年度
工事名	内原南口広場整備工事
路線名	内原駅南口広場
工事箇所	水戸市内原町地内
図面種別	施設計画平面図
縮尺	S=1:250
図面番号	全 63 葉の内 5 号 ()
内容表示	



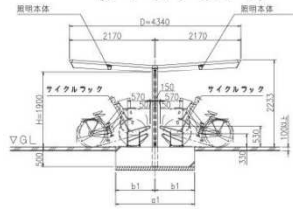
自転車駐車場設備一般図(1)

北口東側柱位置図 S-1:60

平面図 (S=1/60)

- ▶: 排水位置を示す
- ※: 斜線は照明本体位置を示す。
- 26箇所
- ※: 寸法は設置基準寸法を示す。

S-1 Y合掌タイプ
(S-1-1/1-2/1-3)



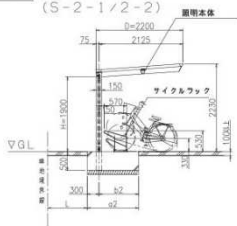
基礎寸法表

長期地耐力 (KN/m ²)	階地境界線までの 距離 (mm)	a1 (mm)	b1 (mm)	c1 (mm)
N≦50	L≦500	2000	1000	1000
	L>500	1800	900	1000

基礎寸法表

長期地耐力 (KN/m ²)	階地境界線までの 距離 (mm)	a2 (mm)	b2 (mm)	c2 (mm)
N≦50	L≦500	1300	1000	1000
	L>500	1000	700	1000

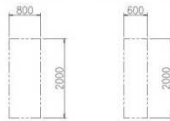
S-2 基本タイプ
(S-2-1/2-2)



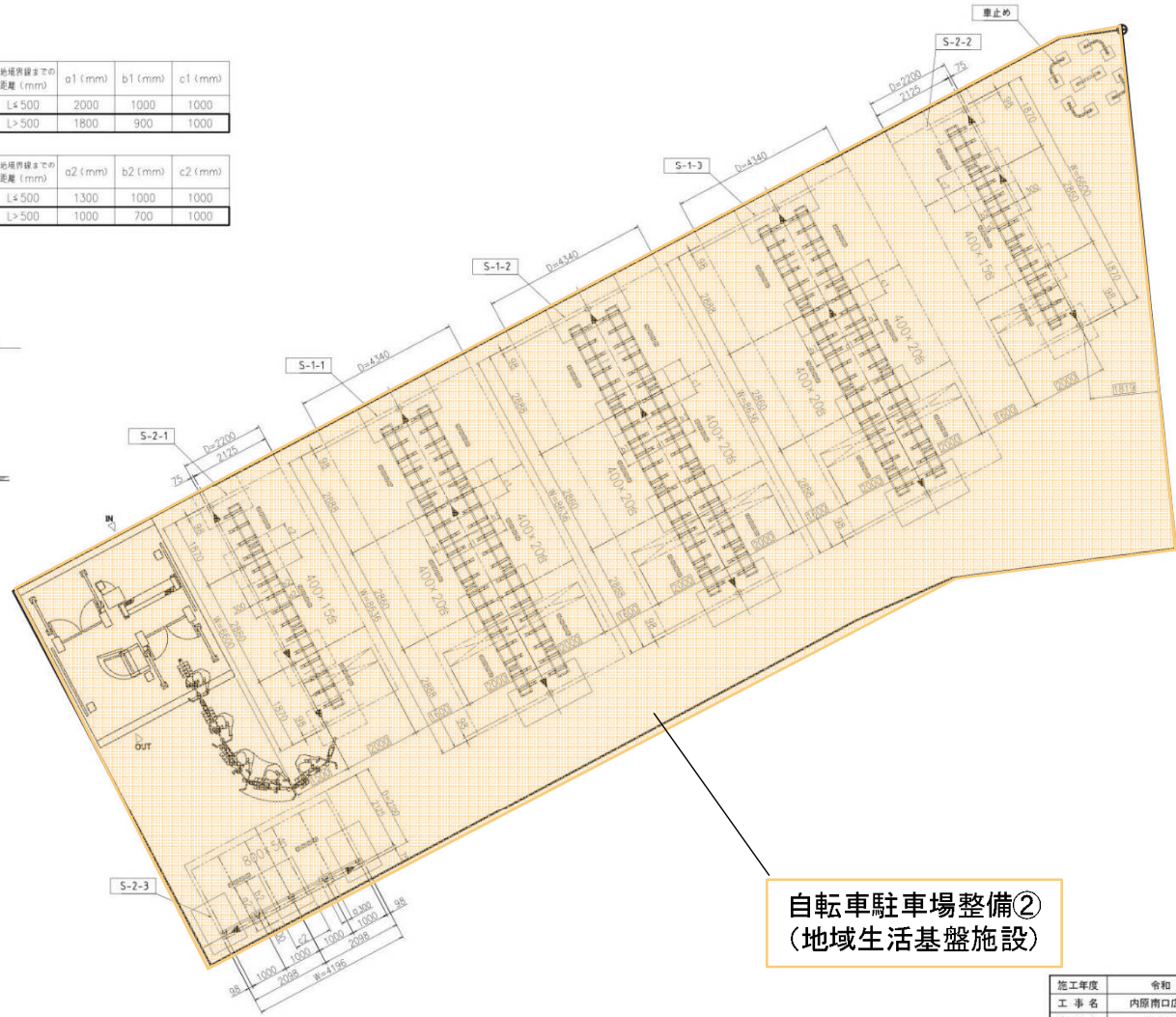
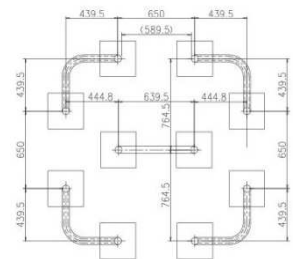
(S-2-3)



原付スペース 駐輪スペース



車止め平面図 (S=1/20)



自転車駐車場整備②
(地域生活基盤施設)

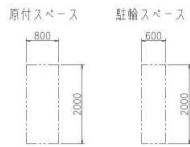
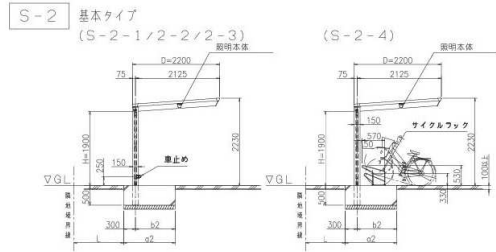
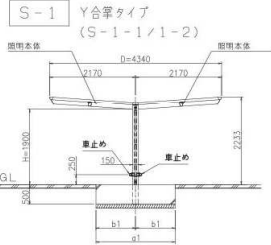
施工年度	令和元年度
工事名	内原南口広場整備工事
路線名	内原南口広場
工事箇所	水戸市内原町地内
図面種別	自転車駐車場設備一般図(1)
縮尺	S-図示
図面番号	全16葉の内2号()
内容表示	

自転車駐車場設備一般図(2) 北口西側柱位置図

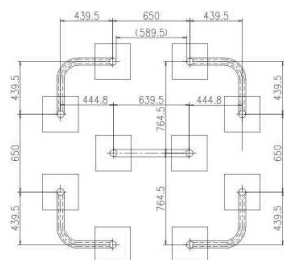
S-1:60

平面図 (S=1/60)

- ▶: 排水位置を示す
- *: 斜線は照明本体位置を示す。
- 37箇所
- *: 寸法は設置基準寸法を示す。



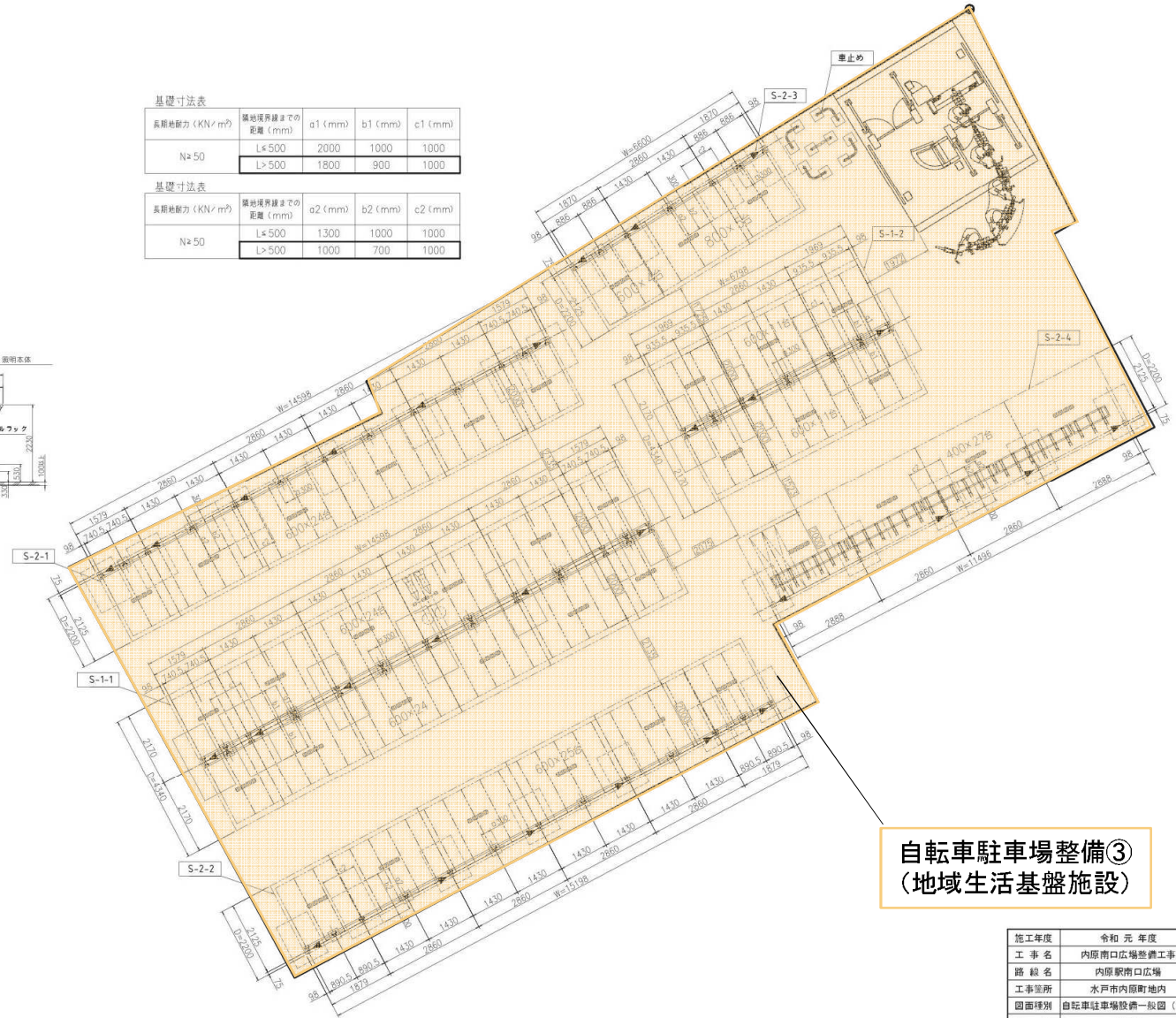
車止め平面図 (S=1/20)



基礎寸法表

長期地耐力 (KN/m ²)	築地境界線までの距離 (mm)	a1 (mm)	b1 (mm)	c1 (mm)
		N \geq 50	L \leq 500 L $>$ 500	2000 1800

長期地耐力 (KN/m ²)	築地境界線までの距離 (mm)	a2 (mm)	b2 (mm)	c2 (mm)
		N \geq 50	L \leq 500 L $>$ 500	1300 1000



自転車駐車場整備③
(地域生活基盤施設)

施工年度	令和元年度
工事名	内原南口広場整備工事
路線名	内原南口広場
工事箇所	水戸市内原町地内
図面種別	自転車駐車場設備一般図(2)
縮尺	S-図示
図面番号	全16葉の内3号()
内容表示	